風呂は家になく、湯札もちて二三丁先へゆくなりといふに勇氣もうせて、やがて臥床に入るに、夜の具は、その堅さよりいふも重さよりいふも、又その冷やかさよりいふも、恰も石の衾にあるがごとし。今日道連れの人の話に、吉野といふ處は一年の生計を花時十日に取立るが例にて、不當の宿賃を貪らるゝのみか、客多き時は屢々謝絶せらるゝもあれば、必ず麓にて泊り給へと言はれしが、この待遇は餘りに情なきに、かくと知らば猶一里を吉野を往きたりしものをと悔めども今は詮なし。硬き木枕にも馴れてやがて眠りに入りしが、耳元近く人聲するに、寤めて聞耳立つれば、三四十人とも覺しく道者連の宿りを求めて押問答せるなり、他に座敷とてなきこの家のさまなれば、やがては吾が室へも割込來ることもやと安き心もなかりしに、幸にも店頭の廣間に押合ひ折重なりて枕につきたる樣子なり、さるにてもこの廣き室を一人にて占むるは今更氣の毒にも思はれて、さきの不平は設備の足らぬよりにて、宿の待遇の惡しき故にはあらざりしなど思ひかへしつ。（完）

△　△　△

淺井忠氏の水彩畫手引に曰く

顏料は左の十四色があれば、之を調合して大抵の色が出來るから、あまり多くの種類は用ひない方がよい。

白　色　**イヤイニスホワイト。**

赤　色　**クリムソンレーキ、ベルミリオン。**

茶褐色　**ライトレツド、バアンシンナ、セピア。**

黃　色　**エルローオーカー、ガンボーヂ。**

綠　色　**フーカスグリーン。**

青藍色　**オルトラマリン、インヂゴー、コバルト、プロシアンブルー。**

黑　色　**アイボリーブラツク。**

以　上

又曰く

繪の主眼たるものは形も明瞭に、色彩も豐富に、明暗も著しくかき、其他の部分は、これを引立たせるために、調子を柔げてかく、もし畫面全體が同一の調子で出來たならば其繪は雜然として、騷がしく不快なるものになつてしまうから、常に全體の調子に注意して部分を無意味に畫き過ぎて主眼を破さないやうにせねばならぬ。

△　△　△

余の精神をこめて畫作に從事する時と雖も若し乞食ありて其痛傷を包まんことを余に乞ふものあるか、又は盲人ありて余に隣村迄の案内を託する事あれば、余は直ちに余の畫筆を投じ、余の全身全力を盡して余の同胞の求めに應ぜざるべからず。

ニコライ、ガイ